

豊中市病院事業業務状況の公表

豊中市病院事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第47号）第9条の規定による令和4年10月1日から令和5年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

令和5年6月1日

豊中市長 長内 繁樹

令和5年（2023年）3月31日現在

病床数 613床

一般病棟 599床

感染症病棟 14床

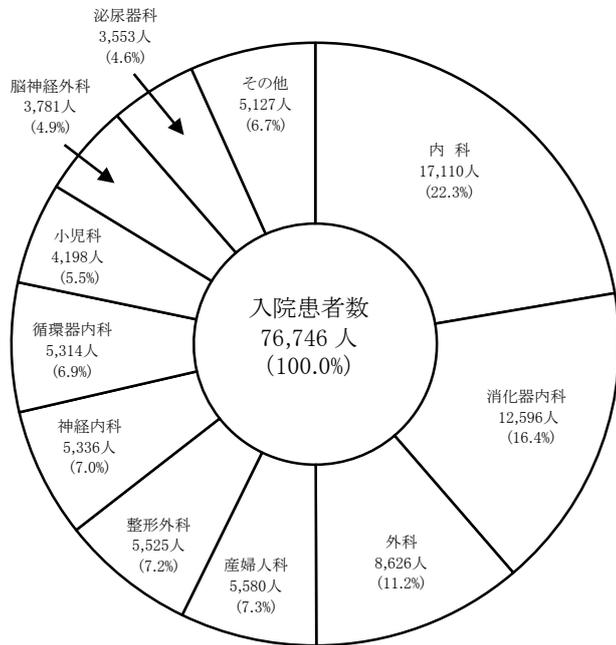
（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

患者数 211,744人

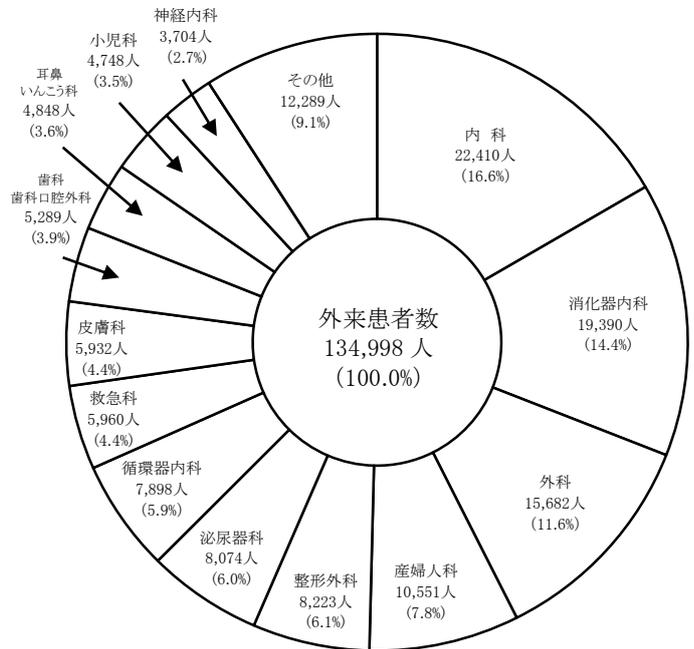
入院患者数 76,746人（一日平均 422人）

外来患者数 134,998人（一日平均 1,125人）

科別入院患者数



科別外来患者数



診療業務件数

レントゲン業務 64,739件

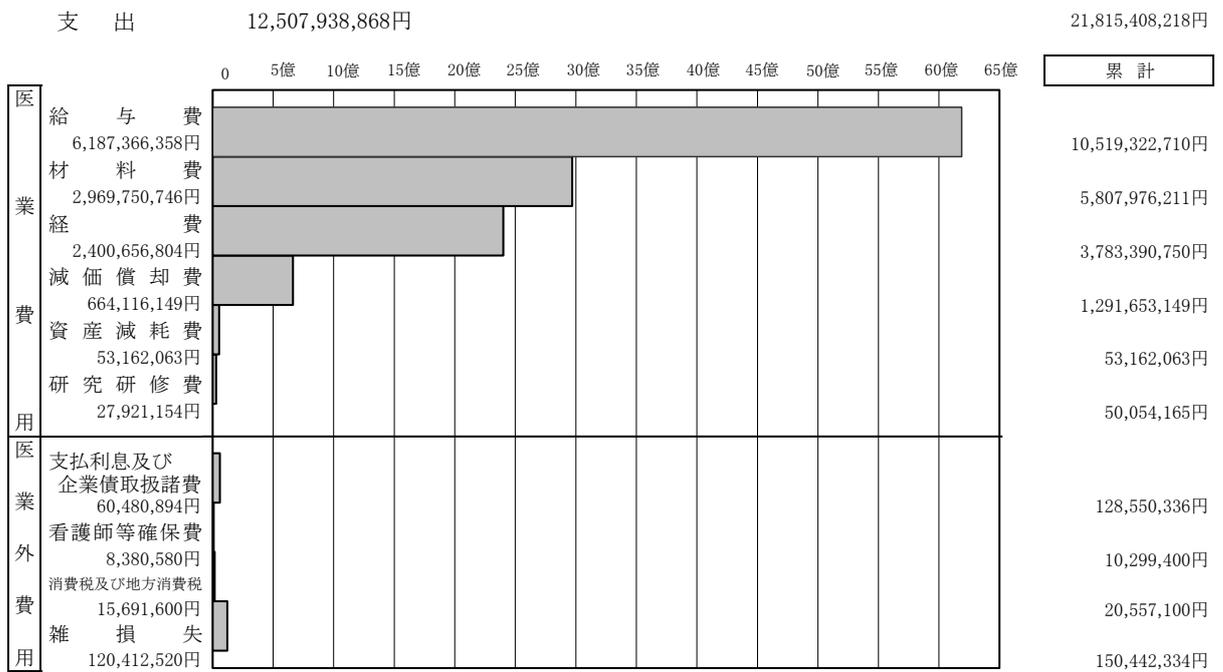
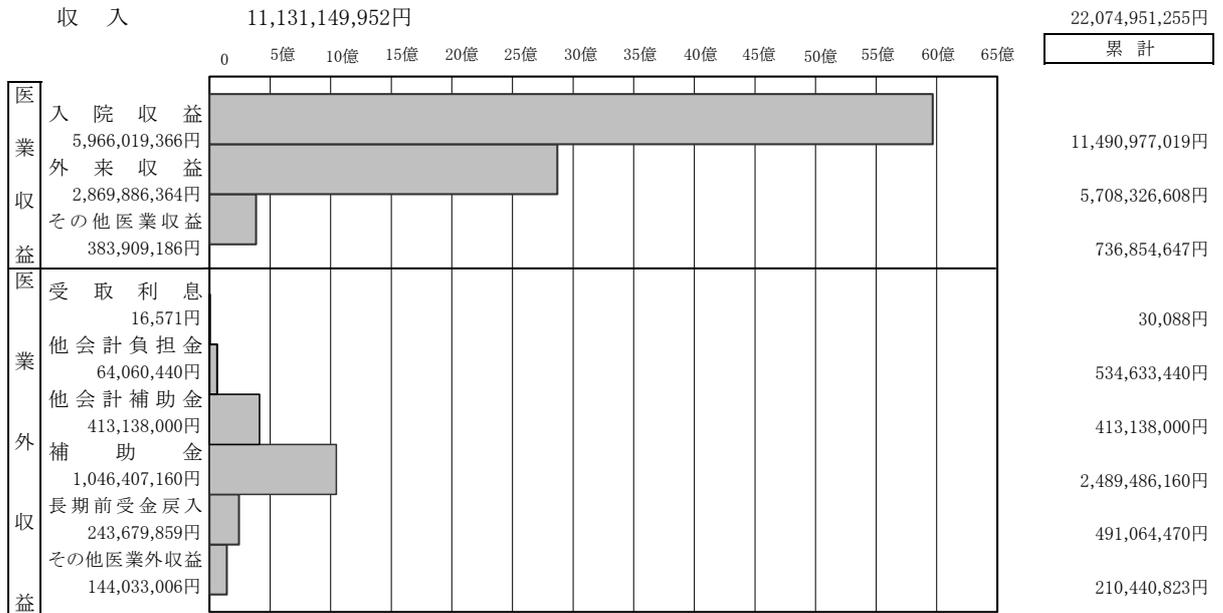
検査業務 1,696,066件

手術業務 2,555件

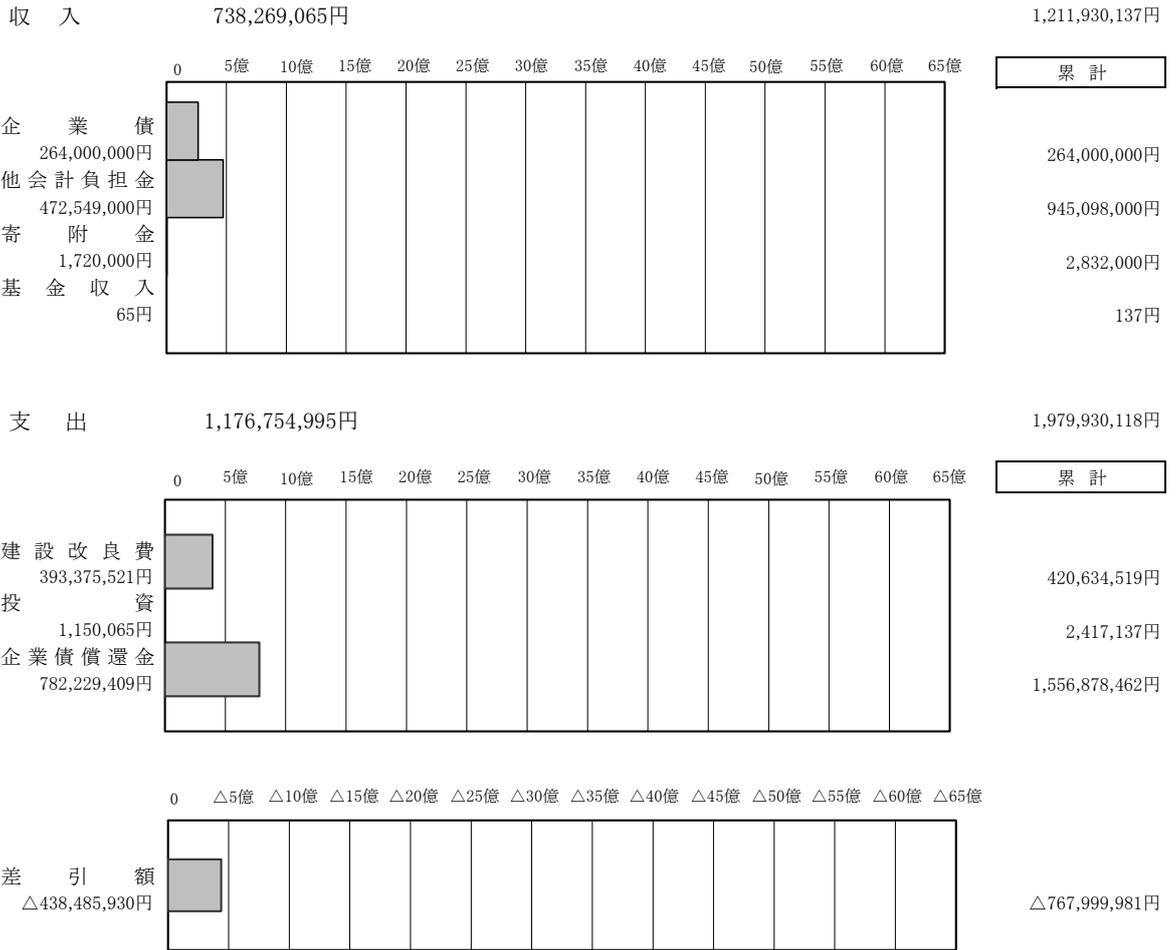
分娩業務 330件

令和4年度(2022年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

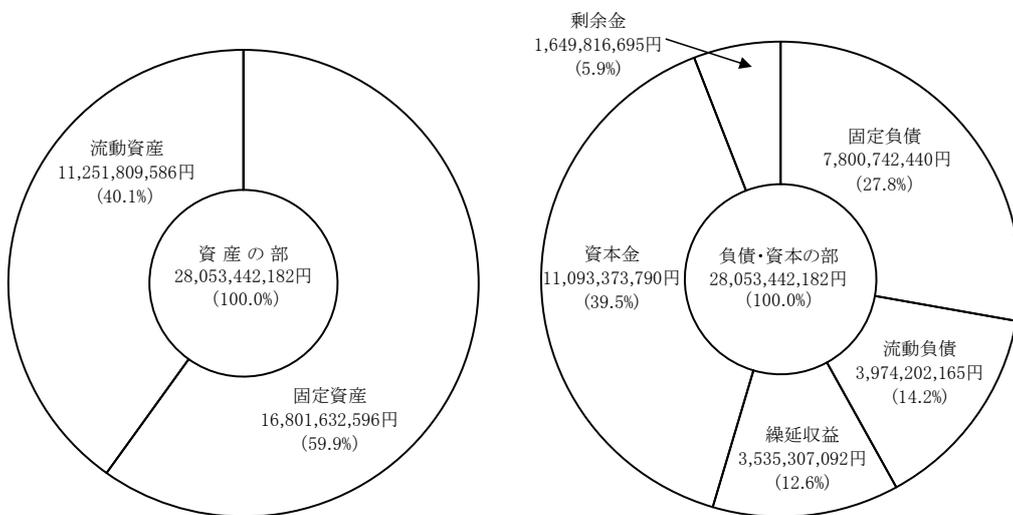
収益的収支



資本的収支



貸借対照表 (消費税及び地方消費税抜き)
[令和5年(2023年)3月31日現在]

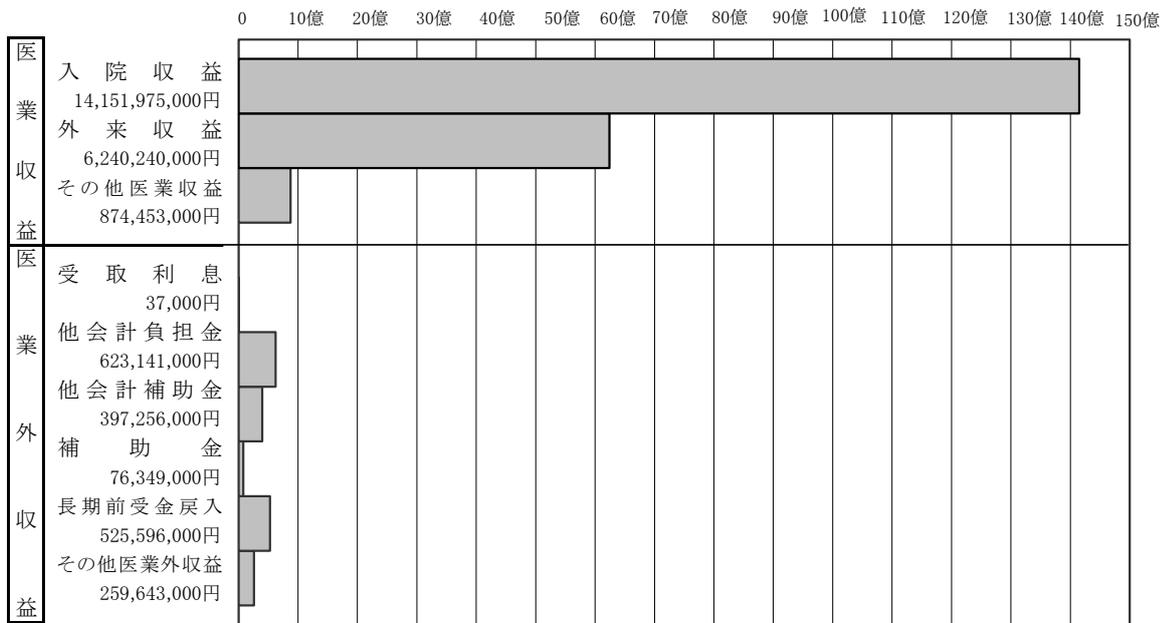


企業債現在高 7,088,914,256円
一時借入金現在高 0円

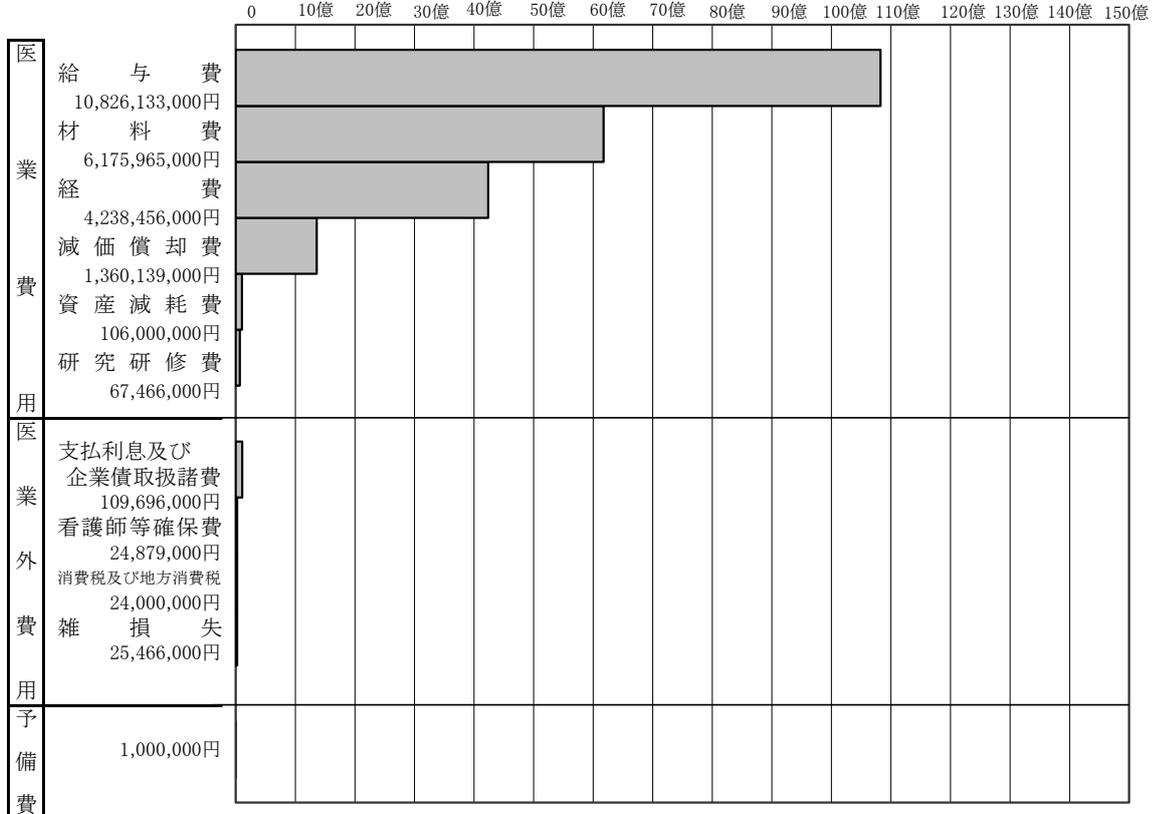
令和5年度(2023年度)予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収入 23,148,690,000円



支出 22,959,200,000円

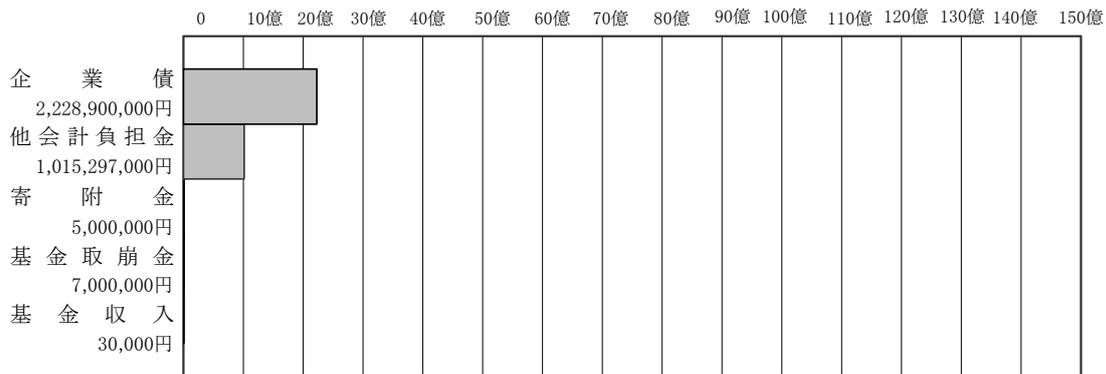


差引額 189,490,000円

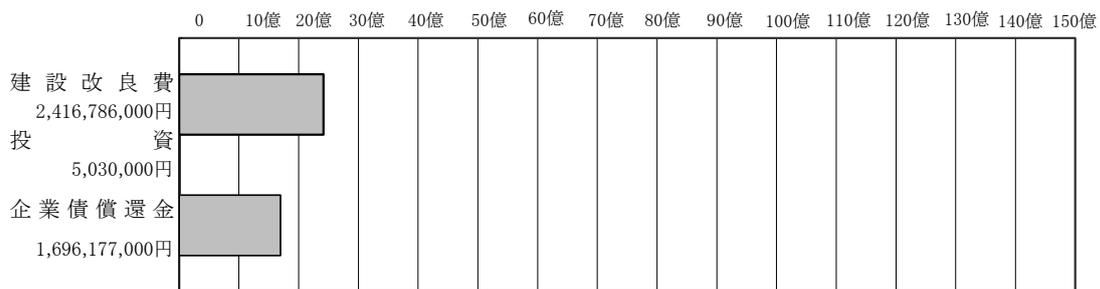


資本的収支

収入 3,256,227,000円



支出 4,117,993,000円



令和5年度経営方針

当院は、令和4年度も前年度に引き続き、感染症指定医療機関として、大阪府の要請に基づく新型コロナウイルス感染症患者の受入病床を確保するため、一般医療の病床を感染症病床へ転用しながら感染症診療を継続してきました。

新型コロナウイルス感染症対策による一般診療への影響は緩和され、令和4年度の医業収益は前年度比で約15億円の増収となり、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復しました。また、新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保等に対する補助金による財政支援もあり、令和4年度は黒字決算となる見込みです。しかしながら、費用面では、材料費や光熱水費の高騰の影響も受けており、今後の病院事業収支については予断を許さない状況です。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となるなかで、令和4年度に策定した『市立豊中病院運営計画』に基づく取組みを推進しつつ、引き続き、市民の生命と健康を守るため、地域中核医療機関としての機能を強化し、患者サービスの更なる向上をめざします。

《令和5年度の主な取組み》

- 受診・紹介しやすい診療科体制の整備
 - ・医療の高度化・専門化に対応し、利用者や地域の医療機関から分かりやすくなるよう、内科・外科を再編するとともに、新たに形成外科を設置します。
 - ・がんゲノム医療連携病院として、より多くの方に医療が提供できるよう、がんゲノム医療センターを新設します。
- 地域連携部門の強化と患者サービスの向上
 - ・入院から退院までを見据えた支援を行うため、患者総合支援部を新設し、相談や治療体制の強化を図ります。また、外来患者のスムーズな入院や、急性期治療を終えた患者の地域医療への移行を支援するため、同部内に患者支援室を新設します。
- 人材の確保・育成と働き方改革の推進
 - ・高度化、専門化に対応する人材確保や育成に取り組みます。
 - ・働きやすい環境と風土づくりや、医師の労働時間短縮を推進します。
- 施設改良の推進と医療機器の計画的導入
 - ・安心、安全な病院インフラの維持のため、エレベーター、電気設備、搬送設備等の整備を行います。
 - ・X線撮影診断装置や医用画像の保存及び閲覧システム(PACS)など、計画的な医療機器の新設及び更新を行います。
 - ・感染症対策の充実に資する設備強化に取り組みます。